

進捗状況の概要

1. カリキュラム改革と地域定着支援

(1) カリキュラム改革

富山大学では、3つの地域科目群（地域志向科目群、地域課題解決科目群、地域関連科目群。計132科目）を整備した。また、平成28年度後期の開講に向けて新設地域志向科目（3科目）の開講準備を行った。富山国際大学では、4部門（課題解決学習、地元学学習、情報技術向上学習、社会人基礎力学習）から構成される地域志向科目（52科目）を設定し、28年度からの開講に備えた。

(2) 地域定着支援

富山大学では、「地域定着プログラム」として、県内就職支援セミナーの実施、「大学コンソーシアム富山」が主催する合同企業訪問へ学生派遣、海外展開する県内企業の現地事業所等への学生派遣及び派遣先拡大のための候補地等の調査・検討、中・長期インターシッププログラム実施のため関係機関との協議及び富山型女性リーダー養成プログラムの講師等について検討などを行った。富山国際大学では、保護者アンケートを実施し、保護者向け就職セミナーを開催した。就職に関わる意識、大学への要望等が掌握でき、「魅力ある」県内企業に対する認識が深まった。

2. 人材の育成

富山大学では、「未来の地域リーダー」育成のための「地域課題解決型人材育成プログラム」規則を制定し、3つの地域科目群を整備した。また、平成28年度からの地域科目群開講に向けて、準備を行った。富山国際大学では、平成28年度からの能力特性評価テスト活用に向けて、地域社会が求める5つの能力（問題分析力、課題解決力、コミュニケーション力、協働力、遂行力）に対応した測定尺度の設定と、それらを自動的に分析できるプログラムを開発した。

3. 事業推進体制

富山大学では、地域活性化推進本部を設置し、推進本部の一翼を担う地域連携推進機構内に地域連携戦略室を設置して、地域を志向する全学体制を整備した。本事業運営上の連絡・調整の窓口となる地域連携戦略室には、COC+推進コーディネーター2名を新たに配置した。また、ALL富山COC+事業推進連合会を整備し、本事業の目標達成に向けALL富山で取り組んでいる。富山国際大学では、COC事業の地(知)の拠点大学として、地域連携推進委員会を設置し、そのもとに地域志向カリキュラム改革部会と地元定着率向上対策部会を設け、事業目標達成に向けた活動を展開している。また、地域交流センター内に知の拠点事業推進室を設置してCOC+推進コーディネーターを配置し、キャリア支援センターに地域就職アドバイザーを配置した。

4. 地域社会への事業構想の説明並びに学内の情報共有

富山大学では、COC+キックオフシンポジウムを開催し、本事業の取組等を広く情報発信し、地域課題についての情報を共有した。また、3種類のCOC+リーフレットを作成し、関係機関及び学内へ配布するとともに、ホームページを作成・公開し、COC+事業の広報を行った。富山国際大学では、「地(知)の拠点大学事業リーフレット」及び「富山県の魅力紹介パンフレット」を作成し学内や関係機関との情報共有を行った。